

野溝町会災害時初動体制整備事業

取組に至る背景・事業の目的

平成23年6月30日に発生した松本南部地域を震源とする地震に際しては、いち早く自主防災会が初期活動を行ったが、避難体制や援護体制、被災初期の生活物資の確保など多くの課題が浮き彫りとなった。

そこで、災害発生後3日間の自力避難を目指して、住民の連絡・連携の強化、避難路や生活物資の確保など、災害時の初動体制の充実を図る。

事業内容

災害時の初動体制確立により、より迅速で安全な避難を行うために、ご近所（隣組単位、顔の知ったもの同士）で安否確認を行う体制を整備し、災害に備えるための次の取組を行った。

- 「初期集合場所」を設定し、地図を作成し配布
- 早期の安否確認を可能とするため無線機の整備
- 初期集合場所への避難訓練及び安否確認訓練
- 防災講演会の開催による防災意識の高揚
- 初動体制マニュアル案の作成



【初期集合場所安否確認訓練状況】

事業効果

「初期集合場所」の設定及び安否確認を通じて、防災意識の醸成が図られ、当初目標であった安否確認目標を上回る訓練結果が得られた。その反面、地域ごとに意識の温度差があり、今後の取り組むべき課題が浮き彫りとなった。また、周辺町会からも野溝町会の取組に対して関心を得るようになり、防災部長が研修の講師依頼を受けるなど、防災意識の広がりを得ることができ、波及効果があったと感じられる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

防災訓練で浮き彫りとなった課題解決に向け、防災訓練等を重ねることにより、より防災意識の高揚を図り、災害時自力で生き抜く体制整備の確立に向け防災会を中心に活動を続ける。

今後は、要援護者の救出救護の体制を整備していくことを大きな課題として取り組むとともに、防災訓練を重ねることにより初動マニュアルのさらなる充実を図っていく。

さらに、簡易トイレなど災害時の環境整備となる資材等の整備を行っていく。

【選定のポイント】

初期集合場所の設定、無線機の整備などを通じ、災害時の初動体制を確立した。実際に行われた2回の初動訓練では、短時間で安否確認を行うことができるなどの成果が得られ、災害に備えるための当町会独自の効果的な取組として評価できる。

また、当該活動は住民の防災意識の高揚に寄与するとともに、近隣町会から防災部長が講師依頼を受けるなど、他への波及効果も期待できる。

団体名 野溝町防災会（松本市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先 0263-25-8083	事業費	1,826,717円
	支援金額	1,311,000円